

# 子育て環境整備基本構想（概要版）～市発足 20 周年記念事業～

## はじめに 子育て環境整備の必要性

第三次総合計画では、人口減少対策として、子育てや教育環境の充実を進め、生活の質的な豊かさや市の魅力を高め、子どもたちが将来住みたいと思えるまち、未来を拓く人材が定着するまちを目指しており、様々な子育て支援策を展開しています。このような中、子どもたちを取り巻く環境は日々変化し、勉強や成績だけではない「これからの時代を生きる力」が必要とされ、子どもたちに感性や創造力が身につく施策が求められていることから、子育て環境の充実を図る必要性が高まっています。

### (1)必要とされる整備

- ①これからの AI 時代を駆け抜ける子どもたちに必要な“生きる力”の育成を図るため、子どもたちが集い・学び・遊べる子育て支援施設を整備
- ②運動神経や体力の向上、想像力や社会性の発達に欠かせない公園の整備
- ③地域の魅力について改めて目を向け、考える機会を提供することでシビックプライドの醸成に繋がる施策の展開

## 子ども・子育てを取り巻く現状と課題

### (1)現状

本市の人口は、1990 年の 97,215 人をピークに減少に転じ、2020 年では、14,461 人約 15% 減少し、82,754 人となっています。15 歳未満人口の年少人口は、1990 年の 18,745 人に対し、2020 年では、9,902 人約 53%減少し、8,843 人となっており、早いスピードで少子化が進行しています。

人口自然動態の推移は、出生者数が死亡者数を大幅に下回る自然減が続いており、人口社会動態の推移は、転出者が転入者を大幅に上回る転出超過が続いています。

### (2)課題

「子育てする環境として最も必要だと思うこと」についての市民アンケート結果では、公園の充実、子育て支援、子育て施設の充実が上位で、新しい時代の市民ニーズに合った子育て環境の充実が求められています。また、幼児期から学童期に育てたい「人生を豊かにする力」として「非認知能力」の向上が求められています。「非認知能力」は逆境に強くなったり、周囲の人と協力出来たり、生きる力として一生の財産となる力のことで、身につけ伸ばすには、美術教育が有効とされていることから、日頃からアートに触れることのできる専用の施設整備が課題となっています。

## 子育て環境整備の方向性

子ども・子育てを取り巻く現状と課題、子育て環境整備の必要性を踏まえ、市内全域における子育て環境の見直しや既存施設との融合等、新たな時代の市民ニーズに合った子育て環境の充実を図ります。

### (1)キッズプレイミュージアム整備:ワクワクが子どもの生きる力を育てる

- ①芸術等を子どもが学び・遊ぶことのできる屋内施設整備の検討

### (2)紙のまち資料館の改修整備:施設を中心に子どものワクワクを創出

- ①紙のまち資料館の大規模改修に合わせて、市内の子どもたちが気軽に紙に触れたり、紙の歴史等を学んだりできる場所の提供等について検討

### (3)みしま児童センター等の整備:施設を中心に子どものワクワクを創出

- ①みしま児童センターの施設更新に合わせ、伊予三島駅周辺と連動した整備を検討

### (4)公園整備:みんなの笑顔があふれる遊び場・ふれあいの場を創出

- ①伊予三島運動公園芝生広場…おむつ替えや授乳などができるスペースの整備の検討（新中核病院を核としたまちづくりとの連携）
- ②その他公園…ユニバーサルデザインの視点を取り入れた公園や自然共生型アウトドアパーク等、公園の設置場所や用途に応じた整備の検討

### (5)ユーホール・アリーナ土居周辺整備:食と農の学び体験・ストリートスポーツ場整備でワクワクを創出

- ①民間の農産物直売所との連携や道の駅の整備等の検討
- ②ストリートスポーツ広場（スケートボードや3on3バスケットエリア等）整備の検討

### (6)その他:市内全域の子育て環境の整備の検討

子育て環境整備の方向性で示す整備等については、所管する部署と連携を図りながら進めます。なお、整備に係る基本計画等が必要な場合は、四国中央市子育て環境整備基本構想（案）を指針として、個別に基本構想や基本計画を策定します。

# キッズプレイミュージアム整備編（概要版）

## キッズプレイミュージアム整備に係る基本的な考え方

(1)基本理念 ～「ワクワク」が子どもの生きる力を育てる～

(2)基本方針

①体験の場『五感をフル回転する、あそびの場とまなびの場』

子ども目線で、色々な創作を体験することができる、子どもも親ものびのび楽しく過ごせる施設

②集いの場『乳幼児から高齢者までが楽しむ場』

親子だけでなく全世代が集い、交流やコミュニケーションを楽しむ施設

③活動の場『文化芸術活動の拠点』

子どもの学習の機会を設け、創作活動や発表の場の提供や、芸術家の作品に触れる機会を提供する施設

## キッズプレイミュージアム整備の内容

(1)基本的な機能

①乳幼児から高齢者までがくつろいだ雰囲気の中、ゆっくり過ごせる空間：くつろぎスペースの提供

②子どもの感性と創造力を育む空間：様々なアートが体験できる施設

③開かれた展示空間：体験作品の展示のほか、貸出ギャラリーとして、市民の作品発表の場所を提供

④全ての人々が交流できるインクルーシブ空間：子どもや親等が学び・遊べる場、誰もが集い交流できる場の提供

⑤環境に配慮した空間：太陽光発電や雨水利用など、環境に配慮した施設

(2)整備の場所の検討

①商業施設の隣接地

②その他

(3)整備の規模

①建物延床面積は1,600㎡、公園の面積は1,000㎡、駐車場の面積は2,400㎡を上限とします。

※規模の詳細や必要な駐車場台数等は今後の設計の中で精査

## キッズプレイミュージアム整備プラン

(1)建設手法の検討

①建設手法の種類

- ・直営方式 設計、建設、維持管理、運営 個別発注 資金調達は市 公設・公営
- ・DB方式 設計、建設 一括発注 維持管理、運営 個別発注 資金調達は市 半公設・公営
- ・DBO方式 設計、建設、維持管理、運営 一括発注 資金調達は市 半公設・民営
- ・PFI方式 設計、建設、維持管理、運営 一括発注 資金調達は民間 民設・民営

②建設手法の方針

建設手法は、従来型の分離発注方式を中心に検討しますが、運営は専門性が必要になることから、民間ノウハウの活用できる一括発注方式も視野に検討します。

(2)概算事業費・概算運営費

①概算事業費（コミュニティセンター等、意匠に配慮した場合を例とした概算）

基本・実施設計費	93,000,000 円
工事管理費	23,100,000 円
意図伝達業務費	14,300,000 円
<u>建設工事費</u>	<u>968,000,000 円</u>
駐車場整備費	12,000,000 円
建設に係るその他費用	643,000 円
公園整備費	70,000,000 円
備品等購入費ほか	18,957,000 円
合 計	<u>1,200,000,000 円</u>

※ほか、建設場所によって用地取得費や用地借地料、造成費用等が必要。

## ②財源の検討

- ・デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生拠点整備タイプ）（上限5億 国1/2、市1/2）  
\*活用には地域再生計画を新規に作成する必要あり。
- ・都市公園の整備事業費補助（用地取得：国1/3、市2/3 施設整備：国1/2、市1/2）  
\*都市公園の整備と合わせ実施する場合
- ・合併振興基金
- ・ふるさと納税（おまかせコース）
- ・森林環境譲与税
- ・起債（一般事業債（充当率75%、交付税措置なし））
- ・ガバメントクラウドファンディング（実施要綱の制定が必要）
- ・新築建築物のZEB化支援事業（ZEB実現に寄与する設備（Nearly ZEB：補助対象経費の3/5））

## ③概算運営費（ランニングコスト）【指定管理料】

人件費（5人）	20,000,000円
需用費（光熱水費、消耗品費等）	2,080,000円
役務費（通信運搬費、保険料等）	390,000円
施設管理における点検委託料等	2,600,000円
コンピューター等保守委託料	650,000円
自主事業費	4,280,000円
合 計	30,000,000円

## (3)整備スケジュール【令和9年度中の開館を目指し整備に取り組みます。】

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
施設整備	基本構想	○				
	整備場所の決定		○			
	シンポジウム等		○			
	基本計画			○		
	基本・実施設計				○	
	建築工事					○
	開館					

## (4)整備に向けた取り組み

本基本構想の策定後、キッズプレイミュージアムの具体的な基本計画や管理運営計画の策定に着手しますが、計画段階からより多くの市民の意見が反映できるよう、シンポジウムや勉強会等を随時開催するほか、検討の経過を随時ホームページ等で公表します。また、オープンに向けて市民の一体感の醸成に繋がるイベント等を実施するとともに、効果的な広報と情報発信を行います。

## キッズプレイミュージアム管理運営の方向性

### (1)運営の基本的な考え方

#### 5つの管理運営に関する基本的な方針

- ①こどもの文化芸術振興の基盤となる環境づくりや持続的に活動が可能な仕組みを作るため、専門的な人材の体制を検討し、鑑賞と体験機会の提供をする。
- ②魅力的なイベントやワークショップの企画など、運営の付加価値向上を図る。
- ③学生や子育てサークル等の若い世代、教諭や保育士などの経験者、市内の芸術家など、活躍できる仕組みづくりの検討を進める。
- ④誰もが気軽に交流できる施設を目指し、地域の子育て支援の機能充実を図る。
- ⑤質の高いサービスと運営コストの低減の両立を図りながら、効果的かつ効率的な運営を図る。

※詳細は、今後別途定めます。